

ラジオドラマ脚本【千支嘶】

脚本・原作

匿名希望

とくめいきぼう

オリジナル脚本

放送後音声公開可

放送後脚本公開可

二〇一七年十二月二十六日

登場人物

寅役・子役・未役・申役・亥役・人間2役・ナレーション

《十河圭祐

白虎役・神様役・酉役・巳役・人間1役

《三好麻美

卯役・戌役

《吉田香里奈

懐概・あらすじ・プロット

文字数 ●約三千文字

所要時間 ●十三分

1. (N) : ナレーション

M 1 : 音楽

【干支噺】

◎原作・脚本 || 匿名希望

登場人物

●寅

干支最強を自負する十二支の一匹

●白虎

寅の弟―兄に秘密があるらしい

●神様

とてもえらい存在

N

もうすぐ一年のはじまりです。人間がお正月に集う前に干支の動物達は一足早く神様お屋敷に集まるようです。

2. 神様御屋敷に向かう途中

寅

「よお酉と子。久しぶりだな。元気してたか？」

酉

「ああ寅さん。こちらは相も変わらず。寅さんの評判はこっちにも聞こえてきてますよ。今年は昨年よりも更にご活躍なさったみたいですね。

ピヨピヨ」

子

「ってか毎年毎年御屋敷に集まったり、

持ち回りで人間見守るも大変だちゅ〜」

「その点寅さんは双子だっておききましたよ？
外見がそっくりなら順番が回ってくる度に交代な
されば二十四年に一度で済んでお楽なんじゃなあ
いかしら？ピヨピヨ」

「ガハハハ、そうもいかないだよな。」

毎年俺とあつてるだろ？楽なんかしねーよ。それ
に俺様と違って弟は色白で体が弱い。しょっちゅ
う誰かに虐められてボロボロでさ。神様にもよく
世話になってるみたいだしな。楽できるどころか
心配の種だな」

「寅さんたち遅いよー」

「神様と呼んでるピョン」

「おっと。早速年賜（としま）だな。まっつ
ましたと。さつさと御屋敷んなかにあがるとする
ちゅ〜」

「主役はもったいつけて登場ってのが世の中の常
つてもんだ——つつす」

「あつ にいちゃん」

白虎

寅

子

卯

寅

酉

寅

「ぶはあっ…何だ弟。何しに来た？今日は干支代表の集会だって言ってきただろ他の動物は立ち入り禁止だぜ」

白虎

「う、うん…分かってるよ。兄ちゃん達の集まりが終わったあとに来るようになって神様に言われて」

寅

「なーんだ。そうだったんか。お前はトロイからな、確かに早めに来て正解だ。ガハハハ！」

白虎

「あははは…」

寅

「それよりまた傷作って。お前は弱っちいんだからあんまりむちやするなよ？」

白虎

「うん…でも、僕も兄ちゃんみたいに強くなりましたくて」

寅

「ガハハ、お前が俺様みたいになるなんて。たとえ毛皮の色がひっくりかえったって叶うもんか」

白虎

「それじゃあ兄ちゃん、僕はこれで…うわっ！？いてて…転んじやった…」

寅

「ガハハハ、いわんこっちゃない。大丈夫か？ほら。手を貸してやる。本当に昔から世話かかるやつだ。今日は俺様帰りおそいからな」

白虎

《寅遠ざかる》

「ありがとう にいちゃん」

「にいちゃんいつちやったなあ。後ろ姿もかっこいいや。兄ちゃんは僕の憧れでヒーローだ」

3.

神様登場

SE：神様登場

M2：音楽

神様

♪〜

「干支の皆。よくぞ集まってくれた。これからお年賜を配るぞ。順番に受け取りにくるが良し」

「やったびよん はやくちようだいびよーん」

「並ぶのとかだりー。でももらえるものはもらつとくつちゅ〜」

「そう慌てるでない。順番に並びなさい。全員分ちゃんとあるからな」

「お年玉を貰うと一年が始まった感じがするメー」

「みんなはお年玉、何に使うんだニヨロ？」

「僕は新しい骨が欲しいワン！」

「キツキ、去年も骨だったツキ？成長しないワン
コロツキ」

「何ー！？聞き捨てならないワン！今こそ決着を
つけるワン！」

「望む所だツキ！」

「また始まったピョン…」

「毎年飽きないかたたちだこと ピヨピヨ」

酉 卯 申 戌 申 戌 巳 未

神様

子 卯

子
巳
亥
神様
SE：神様退出

「巳も毎年僕を美味しくそうだなによく、つて目で見るのをやめてくれちゅ！」

「え？そんな事ないニヨろよ？じゆるり」

「いつもより舌がたくさん出てるブヒ」

「よし。みんなに配り終わったな。」

「ではまた来年。みんな仲良くな。」

あとはみなで好きに騒いでいくがよい」

♪〜♪

寅

M3：音楽

人1

「はあ…酒もそれなりに飲んだし…下界の様子でものぞいてみるかな。どれどれ…。」

「だなあ」

人2

「んだんだ。ずーつと昔は色々な災いがやってきてオラ達のご先祖を苦しめてたつて言うから、本当に神様達には頭が上がりなべ」

人1

「やっぱり干支の動物が守ってくれてるだべなあ。その中でも今は寅が一番力が強いって話だべ。感謝してもしきれねえ」

寅

「おっ。なかなか良いことを言うな。今後もしっかり守ってやろう。」

「気分いいな、もういっぱい酒でもあびるか」

神様		「どうした寅よ。そんなに息をきらして」
5.	神事中	
M 4	寅 SE : 襖を開ける音 M 4 : 音楽	「なっ、…なんだ…これ」
寅	SE : 襖を開ける音	「ん？なんだあの部屋。…あっちか？」
寅	SE : 襖を開ける音	「おおおおおい神様。いねーのか?!」
寅	SE : 襖を開ける音	「四神とかいう強いやつがいるって人間どもが噂してんだ。俺様とどっちが強いか腕試ししてーんだが。」
寅	SE : 襖を開ける音	「ききずてならねえー。酒なんか飲んでる場合じやねえ。神様に問い詰めてやる！」
寅	SE : 襖を開ける音	「…!! な、なんだと!？」
寅	SE : 襖を開ける音	「はえー干支の他にも守ってくれてる動物がいるべか。そりやありがてえ」
寅	SE : 襖を開ける音	「はえー干支の他にも守ってくれてる動物がいるべか。そりやありがてえ」
寅	SE : 襖を開ける音	「はえー干支の他にも守ってくれてる動物がいるべか。そりやありがてえ」
寅	SE : 襖を開ける音	「はえー干支の他にも守ってくれてる動物がいるべか。そりやありがてえ」
寅	SE : 襖を開ける音	「はえー干支の他にも守ってくれてる動物がいるべか。そりやありがてえ」
寅	SE : 襖を開ける音	「はえー干支の他にも守ってくれてる動物がいるべか。そりやありがてえ」
寅	SE : 襖を開ける音	「はえー干支の他にも守ってくれてる動物がいるべか。そりやありがてえ」
寅	SE : 襖を開ける音	「はえー干支の他にも守ってくれてる動物がいるべか。そりやありがてえ」
寅	SE : 襖を開ける音	「はえー干支の他にも守ってくれてる動物がいるべか。そりやありがてえ」
寅	SE : 襖を開ける音	「はえー干支の他にも守ってくれてる動物がいるべか。そりやありがてえ」
寅	SE : 襖を開ける音	「はえー干支の他にも守ってくれてる動物がいるべか。そりやありがてえ」

寅

「な…なんだあこりや？」

神様

「そうか…四神についてしりたいと」

「それであわてておったんじゃな」

寅

「あつ…。そうそうそう！そうなんだよ。」

神様

「今お前の目にうつるのが真実じゃ」

SE青竜

「青竜

朱雀

朱雀

玄武

玄武

そして…」

白虎

「にいちちゃん…」

M5…音楽

寅

「は、はは…お前が四神？お前なんかはどうして四神なんだ？…俺様の方が強い！強いだろ！」

SE《寅とびかかる》

寅

「よけただと！」

白虎

「ぼ、僕は兄ちゃんを守りたいから…：…兄ちゃんと戦うなんて出来ないよ」

寅

「馬鹿言うな！俺様が守ってやってるんだ！昔からそうだ、今だってそうだ！」

白虎

「うん…僕らがまだ小さい頃、兄ちゃんは狼達に囲まれても、どんなに傷つけられても僕を守って

くれたよね…だから、僕もそうなりたいと思って、他の四神に会ってどうすれば強くなれるか聞いたんだ」

「ど、どうやって強くなるって言うんだ？」

「何かを強く守りたい、そう思って立ち上がり続ける事こそ、真の強さなのだ」

「神様!？」

「寅よ。お前もかつて弱かった。狼に襲われた時も、ボロボロになりながら弟を守った。その気持ちに負けて狼達は引き上げたのだ。そしてこの白虎はその頃のお前と同じ、いやそれ以上の気持ちを持っている。他の四神にも劣らぬ素晴らしい力だ。だがそれ故に、よく傷つきもする」

「お前がボロボロだったのはみんなを守るために戦って？」

「うん…そうなんだ。言い出せなくてゴメン」

「…ははは！おれはなんて愚かなんだ」

「兄ちゃん…」

「弟が傷ついているのに、己は安全な檻の中で山の大将だったってわけか…。神様、お願いがあります」

「なんぞ。言ってみよ」

「ああ皆さま今年はいかがお過ごしでしたか？」

ピヨピヨ」

「去年順番だった人はお疲れ様でしたびよん」

「…毎年持ち回りで人間の事を見守るのもやっぱ大変だちゅ〜。その点寅は、双子だって聞いたつちゅ〜。外見がそっくりなんだったら交代制にすりゃ二十四年に一度ですむ。楽だちゅ〜」

「いや〜弟も弟でがんばってるからねえ。努力家でやさしくて自慢の弟だよ！ガハハ」

「なんだか寅変わったピヨン？」

「毛皮の色ちよつと。それに喋り方も変わった気がするプヒ」

「そ、そんなことないよ、ガオー！……ふふふ……」

翌年から人間界では、寅の絵馬にて、十二年おきにその色柄が白くなったり、黄色くなったりしたそうな…
「おしまい

【干支噺】

寅役・子役・未役・申役・亥役・人間2役・ナレーション《十河圭祐》

白虎役・神様役・酉役・巳役・人間1役《三好麻美》

卯役・戌役《吉田香里奈》

原作・脚本《匿名希望》

選曲・効果《十河圭祐》